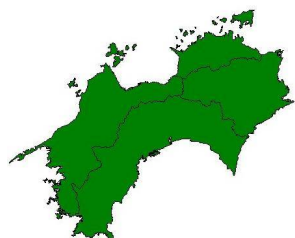


交通バリアフリーニュース



「バリアフリー新法」が施行されました

前号でもお知らせしておりました、平成18年6月21日公布された、「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」(交通バリアフリー法)と「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」(ハートビル法)を統合し、より一体的・総合的なバリアフリーの拡充を図った新たなバリアフリー法「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(バリアフリー新法)が平成18年12月20日施行されました。



説明会の様子

施行を前に、四国運輸局と四国地方整備局は、平成18年12月19日、高松サポート合同庁舎において、新法の内容を理解していただくための説明会を開催しました。

説明会には、四国管内の自治体、交通事業者、障害者団体、NPO等から133名の出席があり、出席者からは新法施行にあたっての法解釈等に対する質問がありました。

「バリアフリー新法」に盛り込まれた新たな内容

対象者の拡充: 身体障害者のみならず、知的・精神・発達障害者など、すべての障害者を対象
対象施設の拡充: これまでの建築物及び交通機関に、道路・路外駐車場・都市公園・福祉タクシーを追加
基本構想制度の拡充: バリアフリー化を重点的に進める対象エリアを、旅客施設を含まない地域にまで拡充
基本構想策定の際の当事者参加: 基本構想策定時の協議会制度を法定化。また、住民などからの基本構想の作成提案制度を創設
ソフト施策の充実: バリアフリー施策の持続的・段階的な発展を目指す「スパイラルアップ」を導入。また、国民一人一人の「心のバリアフリー」の促進

国土交通省バリアフリー・ユニバーサルデザインのホームページ

http://www.mlit.go.jp/barrierfree/barrierfree_.html

四箇小学校でバスの乗り方教室・交通バリアフリー教室を開催

平成18年9月26日(金)、四国運輸局と香川運輸支局は、多度津町立四箇小学校において「交通バリアフリー教室」を開催しました。

教室には4年生2クラス61名が参加し、琴平参宮電鉄㈱の協力で、校庭に低床、高床二種類のバスを持ち込み、担当の方から整理券のとり方から運賃表の見方など、基本的なバスの乗り方について分かりやすく教えて頂きました。



視覚障害者介助体験の様子

また生徒たちは、これらのバス車両を用いた車いす利用者のバスの乗降デモンストレーションを見学したり、アイマスクを着用しての視覚障害者介助体験を行った他、盲導犬についての話に真剣に耳を傾けていました。視覚障害者の立場を実際に体験したことによって、相手を思いやり、相手の立場にたって行動することの大切さを学んだようです。



「盲導犬のお仕事について」の話

鬼無小学校で出前講座を実施

平成18年10月20日(金)、四国運輸局交通環境部消費者行政課は、高松市立鬼無小学校において、「公共交通機関のバリアフリー化について」の出前講座を実施しました。

5年生2クラス49名を対象に、自作のフリップを用いて公共交通機関の役割や、クイズを交えた交通バリアフリーの現状の他、困っている人をすすんで助けましょう



講座の様子

というボランティア意識の大切さなどについて説明しました。参加した生徒たちは、講師の質問に対して熱心に回答しながら、自分たちの身近にある様々な交通バリアフリーの仕組みを学ぶと共に、ボランティア活動による心のバリアフリーについて理解を深めていました。



講師の説明に熱心に聞き入る生徒

徳島市と今治市で交通アドバイザー会議を開催

国土交通省では、公共交通機関の利用者利便向上等を図るためのモニタリング制度として、平成4年度に「交通アドバイザー制度」を創設しています。

この制度に基づき、四国運輸局の管内各県ごとに、当該地域での公共交通機関利用者各層から、職業、性別等を幅広く考慮して、交通アドバイザーを委託しています。

管内の運輸支局では原則として年一回「交通アドバイザー会議」を開催することとなっており、会議では交通アドバイザーの方から、公共交通機関が提供するサービス等の改善に資する意見や国土交通省の公共交通施策全般に対するご意見をいただいています。

今年も各県で交通アドバイザー会議が順次開催されていますが、今回は徳島県、愛媛県での会議の様子をお伝えします。

徳島運輸支局交通アドバイザー会議



会議の様子(徳島)

平成18年11月28日(水)に徳島市において、徳島運輸支局主催で開催された会議では、近藤 光男 徳島大学大学院教授を座長に迎え、6名のアドバイザーの方々にご出席いただき、公共交通に関するご提言をいただきました。

主な内容としては、視覚障害者用点字ブロック上に置かれた放置自転車の問題や、雨よけ・日よけのないバスの停留所の改善等、「誰もが安全で利用しやすい公共交通機関」をテーマに様々な提案がなされました。

愛媛運輸支局交通アドバイザー会議

平成18年11月29日(木)に愛媛県今治市において開催された愛媛県交通アドバイザー会議では、寺谷 亮司 愛媛大学教授を座長に迎え、他5名のアドバイザーの方々からご意見を頂きました。

初となる今治市開催ということで、当会議では、今治駅のエレベーターの設置に関する進捗状況についてや、島内バスについて高速バスとの接続や、バス車両の小型化についての意見が出された他、週末だけでも、生活圏から大型ショッピングセンター等へ向けてのバスを走らせてほしい等活発な意見が出されました。



会議の様子(愛媛)

なお、この交通アドバイザー会議ですが、今年度中に香川県と高知県でも開催予定ですので、次号でも引き続き紹介していきます。

消費者行政インタビュー

～小豆島バスの取り組みについて～

四国運輸局では、消費者ニーズや消費者行政上の課題を把握し、その結果を行政に役立てていくことを目的として公共交通機関の利用者等を対象にインタビューを行っています。

今回は、香川県においていち早く低床バスを導入し、鉄軌道のない小豆島において、地域住民や観光客の不可欠な交通機関として重要な役割を担っている「小豆島バス株式会社」で、「交通バリアフリー」についての考え方や取り組みをお伺いしました。



小豆島バス㈱事務所

小豆島バス株式会社
 本社：香川県小豆郡土庄町土庄港前
 設立：1919年「平井自動車部」設立
 1966年「小豆島バス株式会社」に
 改称
 保有車両数：27台
 (うちノンステップバス11台)
 保有率 約41%



小豆島バス(ノンステップ)

積極的に低床バスを導入されていますが
 御社のお考えをお聞かせください

小豆島は特に、高齢化が進んでおりバス利用者のほとんどがお年寄りで、従来のバスでは乗降が非常に困難そうでした。また、車椅子利用者は従来のバスでは単独では乗降できませんが、低床バス運行で行動範囲も広がります。

少子・高齢化による人口減少や観光客の大幅減に加え、急速な自家用車の普及で、年々減少する輸送実績からも分かるように、路線バスの運行維持には大変苦慮しております。

ノンステップバス導入の経緯

12年度	2両
13年度	4両
14年度	2両
15年度	1両
16年度	1両
17年度	1両
合計	11両



土庄港

しかしながら、「利用者へのサービス提供が第一」と、地域に認められる企業になるため努力しており、低床バス導入もその一つです。ノンステップバスは非常に高価であるため、自治体の補助がなければ到底無理ですが、今後も利用者利便向上のために努力して参りたいと考えています。

運 転 日 報

平成18年2月1日 改正

土庄港 → 坂手・映画村・福田港 行

便名	発時刻	運転手	便名	発時刻	着時刻	運転手
1	6:20 (福)		28-29	6:20		
30	6:50 (福)		29-27	7:20		
2	7:05 (福)		4	(福)		
3	7:35		30			
23-27	8:20		3			
4	8:50		24			
1	9:10 (福)		26			
2	9:30		1			
3	10:10 (映)		2			
24-25	10:30 (福)		4			
28-27	11:10		2			
4	12:05 (福)		5			
5	12:20 (映)		3			
24-25	13:00		28			
14-15	13:40		26-27	13:20		
3	14:22 (福)		2	(福)	13:50	
29	14:40 (映)		5	(映)	14:20	
28	15:35		24-25	15:05		
5	16:00 (福)		4	(福)	15:40	
24-25	16:45		25	(映)	16:05	
6	17:10 (福)		14-15	17:10		
29	17:40		26-27	(福)	17:05	
28-27	18:15		28		18:10	
14-15	18:30 (福)		30		18:35	
28	19:05		29		19:15	
29	20:00		31	(福)	19:45	

低床(車椅子可)
低床

拡大

土庄港 → 福田港 行(北廻り)

便名	発時刻	運転手
3	7:10	
5	8:15	
6	10:40	
2	12:55	
4	14:35	

福田港 → 土庄港 行(北廻り)

便名	発時刻	着時刻	運転手
32	6:50		
1	7:25		
2	8:10		
1	10:15		
24-25	11:45		

生活路線を記した運転日報(ほとんどが低床化)

利用者の反応はいかがですか？

低床バスの導入時には「低床バスは何時に走りますか？」等の問い合わせもありましたが、平成12年度から17年度まで合わせて11台を導入し、今では生活路線の約95パーセントが低床化できましたので、そういったお電話もなくなりました。

利用者の方に受け入れられているものと思っています。低床バス100パーセント導入に向け、さらに努力をしていくと同時に、ソフト面の充実のため、親切・丁寧な接遇を心がけていきたいと思っています。

ノンステップ 乗合 バス(移動円滑化一部非適合車含む)の導入状況

平成18年3月31日現在

運輸支局	事業者名	支 局 管 内			総車両数 (台)	導入比率 (%)
		導入車両数(台)				
		計	適合車両数	一部非適合 車両数		
高知	(有)高南観光自動車	2	2	0	3	66.67
香川	小豆島バス(株)	11	9	2	27	40.74
愛媛	伊予鉄道(株)	53	53	0	170	31.18
香川	大川自動車(株)	7	7	0	23	30.43
高知	高知東部交通(株)	5	5	0	17	29.41
香川	ことでんバス(株)	16	16	0	79	20.25
徳島	小松島市	3	3	0	15	20.00
"	徳島バス(株)	27	27	0	150	18.00
高知	(有)嶺北観光自動車	1	1	0	6	16.67
徳島	四国交通(株)	3	3	0	21	14.29

四国管内ノンステップバスの導入比率の上位10社

感想

急激な自家用車の普及、少子・高齢化に伴う人口減少、観光客の減少等による公共交通機関の利用者の大幅な減少は、どこの自治体においても問題となっていますが、特に離島におけるこれらの問題は深刻です。鉄軌道がない小豆島において必要不可欠なバス路線とはいえ、マイカー占有率は高松市内とさほど変わりません。このような環境のなか、利用客の大半を占める高齢の島民のために積極的にノンステップバスを導入し、今後も「地域に認められる企業に」と努力をされているとのことでした。今後ますます加速するであろう高齢化した島において、ノンステップバスの果たす役割はより一層大きくなるものと思います。

インタビュー実施日：H18.12.20(水)

話し手：小豆島バス(株)運輸部次長 山口 清氏

聞き手：消費者行政課 伊藤

バリアフリーお遍路倶楽部の紹介

愛媛県内を中心に、障害者や外出をあきらめている高齢者の方々の外出のサポートをメインとして、幅広い活動を展開されている「バリアフリーお遍路倶楽部」の様々な取り組みや今後の展望等について、当団体代表:木城 香代さんにお話をお聞きしました。

「バリアフリーお遍路倶楽部」

愛媛県松山市

087 - 911 - 0077

設立:平成11年10月
(法人格無し)



代表:木城 香代さん



活動の様子その1

「バリアフリーお遍路倶楽部」発足の経緯は何ですか？

もともと視覚障害者の方々に「対面朗読」や「外出のサポート」を行っていた経験があり、「東京から視覚障害者の団体が四国旅行のため愛媛にこられるのでボランティアで対応できませんか？」と地元の社会福祉協議会から連絡が入り、どうせなら観光だけでなく、四国の歴史風土に触れる八十八カ所巡りを体験して欲しいと逆提案したのがきっかけです。

どのような活動をされていますか？

当初は全国から四国に来られる視覚障害者のサポートが中心でしたが、現在は地元の様々な障害を持つ方々の四国遍路を中心とした「バリアフリー旅行」の他、「車椅子利用者が作業できる農園」を作りたいと思って、知り合いから畑をお借りし、今はボランティアスタッフの他、フリースクールに通う子供達、認知症の人たちと一緒に無農薬の野菜等を栽培し、月一度の朝市で販売したりもしています。また、愛媛県から受託されてシンポジウムを開催し、広く取り組みを紹介したりもしています。



活動の様子その2

メインの活動である「視覚障害者と行くお遍路・四国の旅」の具体的な内容について教えてください。

当初は全国各地から希望者を募って、3泊4日で企画をしていましたが、どうしても費用が高くなるし、長時間の参加が難しい方々もいます。できるだけ地元の方が気軽に参加できるよう、今では1日で企画をしています。

発足当時はそれほどバリアフリーに対する環境も設備も整っておらず、特に宿泊場所の確保には苦労しました。盲導犬や介助犬に対する理解も乏しかったので、こちらも非常に気を遣いました。今ではお寺にもスロープや手すりがついたり、トイレが改善されたりと随分状況は変わりましたが、何より今まで家に閉じこもりがちだった障害者の方々が外に出ることによって、自ら生きがいや喜びを見いだせる一方、周囲にも少なからず影響を与えることができたのではないかと思います。今ではボランティアスタッフも、定年を迎え、第二の人生を始められた方や不登校・ひきこもりの若者、多種多様な立場の方達と一緒に楽しく活動しております。

バリアフリーお遍路倶楽部の主な実績

平成 9年 4月	「視覚障害者と行くお遍路・四国の旅」スタート 琴平宮、藍染体験
11月	「第2回・視覚障害者と行くお遍路・四国の旅」 地引き網体験、高知城見学、紙漉
平成10年10月	「第3回・視覚障害者と行くお遍路・四国の旅」 土柱、焼き物体験
平成11年10月	「第4回・視覚障害者と行くお遍路・四国の旅」 バリアフリーお遍路倶楽部発足 上勝町での交流会、慈眼寺での穴禅定体験
⋮	⋮
平成14年10月	「第11回・視覚障害者と行くお遍路・四国の旅」 不登校・引きこもり者の社会復帰プログラム開始
平成15年 5月	「第12回・視覚障害者と行くお遍路・四国の旅」 視覚障害者だけでなく単独で外出が困難な高齢者も受入れ開始
⋮	⋮
平成16年10月	「第16回・視覚障害者と行くお遍路・四国の旅」 松山市を中心に車椅子遍路実施開始
	その後、車椅子利用者他障害者を中心に車椅子遍路続行中

日頃の活動を通して思うことや今後の展望などについて教えてください。

人は一人では生きられません。今、私が様々なボランティアをライフワークにしているのは、私自身がたくさんの人に支えられて生きてきたからです。近年のバリアフリー化の流れを受けて、ハード面のバリアフリー化は今後も進むでしょうけれど、私を含め、多くの方が、社会をよくするために、何をどのように要望していけばいいのかが分からないと思うのです。しかし、一個人、一団体ができることは限られています。行政とどのように協働し、どのように社会に貢献していくか、私自身日々勉強ですが、何より大事なものは情報の発信です。今後も私たちの活動を、広く皆さんにお伝えしていけたらと思っています。

感想

「自分の得意分野で人の手助けができるなら」との思いから始まった木城さんの多種多様な活動についてのお話はとても興味深く、「そのエネルギーの源は何ですか？」と問いかけずにはいられませんでした。小規模だからこそ木城さんの配慮が行き届いた、きめの細かい対応ができる一方で、「バリアフリーお遍路倶楽部」が今後さらに大きく展開していくための体制作りを期待したいと思いました。

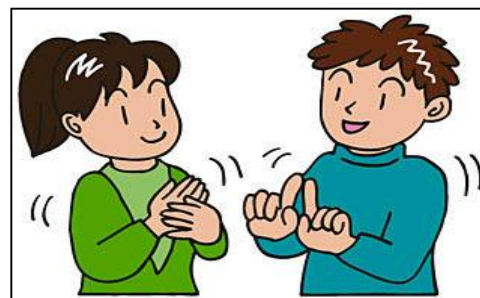
インタビュー実施日：H18.11.30

話し手：「バリアフリーお遍路倶楽部」代表：木城 香代さん

聞き手：消費者行政課 伊藤

続・交通ボランティアのすすめ

これまで交通バリアフリーニュースでは、4回にわたり「交通ボランティアのすすめ」と題して、困っている方へのお手伝いの仕方を掲載してきました。前回に引き続き、その続編として、これだけは覚えておきたい簡単な手話を紹介したいと思います。



交通バリアフリー教室について

四国運輸局では交通バリアフリーについての理解を深めるとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者・身体障害者等に対し、自然に快くサポートできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指して交通バリアフリー教室を開催しています。

18年度は、7月6日に高知龍馬空港での開催を皮切りに、順次教室を開催してきましたが、19年度も引き続き、教室開催にご協力いただける事業者、NPOの方からのご連絡をお待ちしています。また、乗務員教育の一環として開催を希望される事業者の方もご一報ください。



【編集後記】

小学生を対象とした交通バリアフリー教室や出前講座で、講師の先生や当課職員の話をも真剣に聞き子供達の姿にはいつも感心させられますが、今回四箇小学校で行った交通バリアフリー教室での、盲導犬を前にしての生徒の皆さんの集中力は、特に目を見張るものがありました。

教科書や教材の上でなく、実際に自分の目で見、体験したことで、相手の立場で思いやり、行動する、「心のバリアフリーの大切さ」を感じ取ってくれたのではないかと思います。

(交通環境部 伊藤)

みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリアフリーに関するものならなんでも結構です。四国運輸局消費者行政課まで、FAXまたはメールでお寄せ下さい。



〒760-0064

高松市朝日新町1-30

四国運輸局交通環境部消費者行政課

電話 087(825)1174

FAX 087(822)3412

Email: Shikoku-shohisha@skt.mlit.go.jp



国土交通省

このニュースは交通バリアフリー関係の話題を中心に、4県自治体のバリアフリー関係担当部署、交通事業者及び地域のNPOの方にお送りしています。

このニュースの配信につきまして、配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡ください。

四国運輸局ホームページもご覧ください

<http://www.skt.mlit.go.jp/>